

# 藤棚新聞



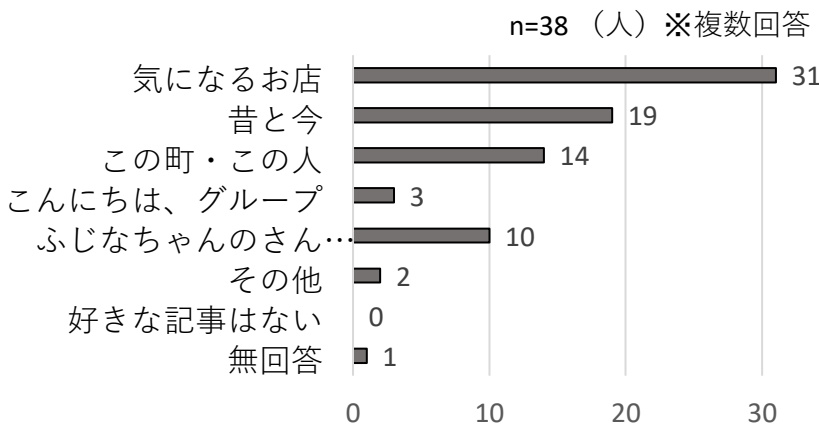
第60号  
2018年(平成30年)  
6月20日  
偶数月発行  
フリーペーパー

## 「街歩きをすると 楽しくなる情報が欲しい」

藤棚新聞10周年記念  
アンケートから

藤棚新聞では発刊10周年の機会をとらえて、地域みなさまに藤棚新聞に対するご意見をお伺いしました。お伺いした方法は、地域で活躍されている方、日頃お世話になっている方を中心に合計38名の方に、藤棚新聞のメンバーがお一人ずつ面談しました。

### 問1. 藤棚新聞で好きな記事はありますか？



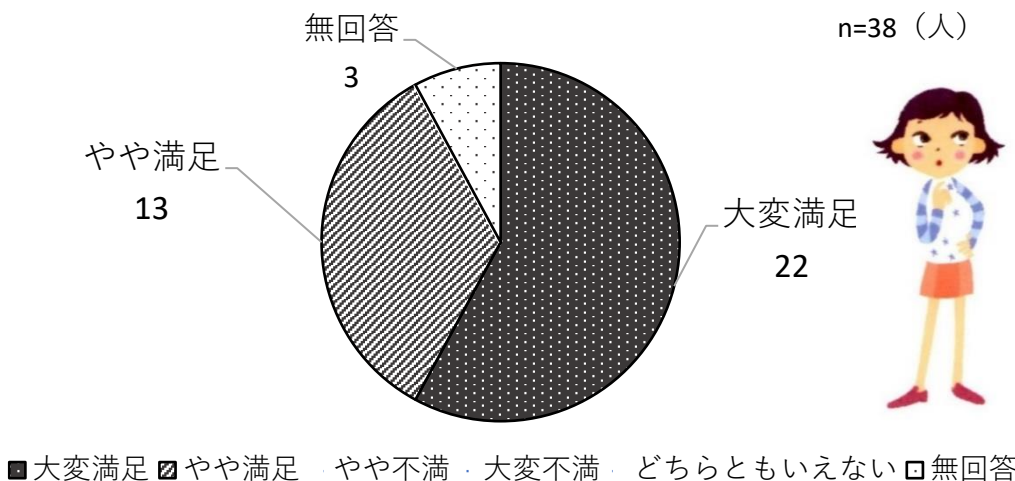
「気になるお店」は8割以上の方が好きだと言っています。地元で美味しいものを食べたい、おしゃれな洋服を買いたいといったときにお店に寄せる思いがうかがえます。

「昔と今」も50%の方が好きだと言います。高齢の方も若い方も地元の歴史を知って、これからの住みよい町楽しい町に思いを馳せているのではないのでしょうか。

「この町・この人」は名人と言わ

れる人、スポーツや音楽などで活躍した人を取り上げ、「こんにちは、グループ」は地域の音楽やお茶などのグループをできるだけ広く紹介しています。「ふじなちゃんのさんぽみち」は身近にあって意外に知られていないと思われる展望やオブジェを巡っています。

### 問2. 藤棚新聞の記事を読まれて、いかがですか？



### 寄付のお礼

5月13日に実施されたこども笑店街では、みなさまから藤棚新聞に対して暖かいご支援と寄付をいただきました。まことにありがとうございます。

これからも地域に少しでも役立つことができますように力を尽くしていきます。

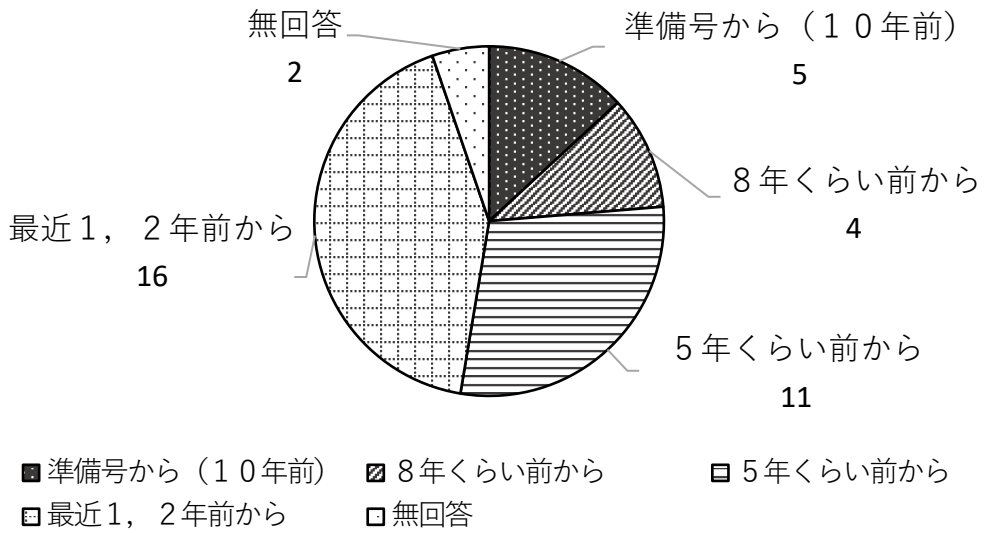
2面に続く

1面から

問3. いつ頃から読まれていますか? n=38 (人)

藤棚新聞をいつ頃から読まれていますか? という問いに対して、1、2年前からという回答が多いことに考えさせられます。

住民の方へは自治会の回覧板と一緒に回してもらっていますが、なかなか目につきづらいのかもしれませんが。



現在、藤棚新聞は回覧板のほかに商店や学校、区役所、病院、福祉施設、郵便局などの公共機関といった住民の出入りの多いところにも置かせてもらっています。一度手にしたらそのまま持って帰っていただける藤棚新聞になるように努めなければなりません。

問4. 藤棚新聞についてのあなたのご意見を教えてください。(自由にお書きください)

(勝手ながら、同じようなご意見についてはひとつにまとめました。)

- ・読み応えがあります。地域の魅力を発信する媒体です。続けて頑張ってください。 10人
- ・街歩きしていて楽しくなる地域密着情報をリアルタイムでほしい。 8人
- ・気になるお店、新店舗を紹介してほしい。 2人
- ・地域に当たり前のよう存在しているものの尊さに気づかされるような記事はとてもよい(銭湯)。 2人
- ・温故知新のような歴史の話が参考になります。 2人
- ・「この町、この人」は町に親しみを持つきっかけになります。 2人
- ・家族で話題になる記事、新しい住民の声、若者の意見を聞きたい。 1人
- ・バックナンバーをホームページやフェイスブックで公開してほしい。 1人
- ・読みやすいフォントサイズになっている、印刷に関する提案、ペットの飼育としつけの記事連載、毎月読みたいという希望、クーポン券の掲載依頼など。
- ・無回答 4人



問5. あなたの性別を教えてください。

①男 18人 ②女 19人 無回答 1人

まとめ

アンケートの依頼にこころよく応じてくださった方々に感謝申し上げます。回答内容をしっかり受け止め、これからも地域の皆様とのコミュニケーションを高めて藤棚新聞の目標である「地域の人々のつながりをつくり、助け合いを図る」を実現するように頑張っていきます。

なお、このアンケートの報告についてのお問い合わせは、4面下部に記載された藤棚新聞の電話・FAX またはメール宛てにお願いします。

# 縁日、賑わう

## 6月14日・西前中央商店会 ～ 藤棚一番街

16世紀の戦国時代に建立されたとされる願成寺さんの日限地蔵尊縁日は、昭和初期から続いています。6月から8月迄、以前は4と9のつく日に行われていましたが現在は4のつく日です。昭和50年代頃は、あまりの混雑に親は我が子の手を必死に握っていたそうです。



まだ日が明るいころから少しずつ集まってきました



願成寺さんに参拝をしてご利益を願いました



こどもたちの顔はかがやき、買い物客でごったがえしました

トイレがあるから安心です



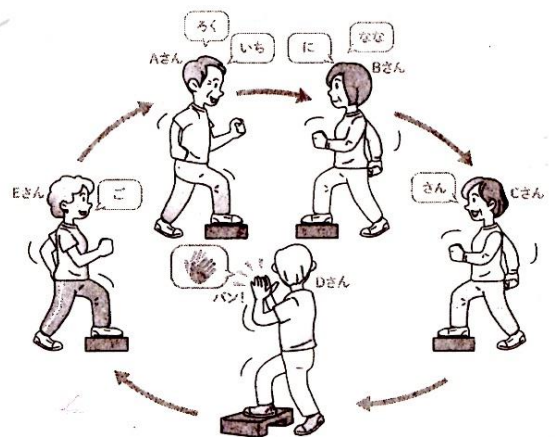
# 運動で認知症のリスクを軽減 —— コグニサイズ

今私たちは誰もが認知症のことを知り、予防することに努めています。5月31日、この一環として西区福祉保健センター主催で「今日から始める認知症予防～脳が喜ぶ4つの秘訣」をテーマにした講演会が西公会堂で開催されました。

講師は、国立長寿医療研究センター健康増進研究室室長の土井剛彦さんです。土井さんは、高齢者のための大規模機能健診や認知症予防のための運動を用いたプログラムを作成しています。

活動的なライフスタイルの中でも運動は認知機能を向上させ、認知症のリスクを軽減させるとして、コグニサイズ(コグニション〔認知〕とエクササイズ〔運動〕の組み合わせ)をご自身で見本を示しながら講演されました。

### 「まちがってもいいんです！」



国立長寿医療研究センター  
パンフレットより引用

コグニサイズは、脳の運動と簡単な手足の運動をいろいろに組み合わせることで、脳と体の機能を効果的に向上させます。椅子に座ったままでも立っても、一人でも複数人で関係しながらでもできます。

「まちがってもいいんです！」と講師の軽妙な語り口とユーモラスなアクションに乗せられて、観客もいっしょに笑いながら体験して予定の時間はあっという間に。

休憩時には地域の方々による、「ころばんよ体操」のデモンストレーションもありました。このCD・DVDについては、西区役所または西区内の地域ケアプラザにお問い合わせください。

西区役所 高齢・障害支援課 TEL 045-320-8410 FAX 045-290-3422

## 第6回 第3地区ふれあい春まつり

5月20日、よく晴れた空のもと稲荷台小学校では第6回第3地区ふれあい春まつりが開催されました。たくさんの出店のほかに、資源循環局西事務所のコーナーでは、釣り竿でペットボトル、プラごみを掬うゲームや、燃えるゴミを分別する「レスキュー大作戦」(写真右)にこどもたちが奮闘していました。



### 移動支援バスのお披露目も

グラウンドでは、地域の人たちの足をめざして今後運行される予定の移動支援バス「おでかけ3」(写真左)のお披露目もありました。



## パパの育児を生き活きと



パパにも育児を生き活きとやってみよう、西区地域活動支援センター「にしとも広場」では、5月12日に同所を会場にして『にしとも広場イクメン講座』を開催しました。

講師は中学生のころニューヨークでベビーシッターの経験をもち、現在は親父の会やイクメンスクールなどで活躍する北田 禅(きたただ ゆづる)さんです。

参加した5組のパパは、絵本の読み聞かせでは照れずに感情を出すこと、子どもに「もう一回」と言われたら手抜きせずもう一回読むことやママからパパへのお願い、パパ友づくりなどたくさんを学びました。

**藤棚俳壇・選者——三村風彦**

夏帽子おさえて渡る高架橋  
 太陽の切り口見たしトマト切る  
 かる鴨の子連れ水尾引く柏尾川  
 和菓子舗の古い看板葛桜  
 青楓若い大師の頬を撫で  
 サンモール銀色目高プラの箱

《寸評》

相鉄の西横浜駅や天王町駅から国道一号線を横断して藤棚商店街に向かうと、幾つかの歩道橋や跨線橋を歩く。そんな時、鏗広の夏帽子が風にとばされそうになったのだ。

\*

投句—当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先を記載して。次回締切は七月二十日。  
 巻頭句には粗品を進呈。  
 Eメール：fujidananp@jcom.zaq.ne.jp  
 FAX：045-895-0081

伊東 櫻子  
 小野 元夫  
 三原 利子  
 小泉 道子  
 小沢 順子  
 鈴木 初枝

**地元で35年！親身な指導！**

■起業・会社設立  
 ■決算・申告・記帳代行  
 ■相続・贈与・事業承継

**寺田会計事務所**

公認会計士 寺田誠一  
 税理士 寺田悟史

相 談  
 無 料

西区中央2-13-2  
 伊勢新ビル2F  
 ☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

藤棚新聞ではただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801  
 【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】[fujidananp@jcom.zaq.ne.jp](mailto:fujidananp@jcom.zaq.ne.jp)